

## I. 通学圏内の帰国者を対象に

### [日本語学習支援事業等]

#### ①通学課程・交流事業

- ・高齢者：孤立化防止／健康増進・介護予防／日本語等の生涯学習や生きがいづくり
- ・壮年者：自立やキャリアアップをめざす各種日本語・パソコンコース

※4月現在の在籍者実数 479名（1世 72.8%、2世 27.2%）



#### ②遠隔学習課程の「スクーリング」の実施（※都内在住者対象）

- ・自学を支える月1回の対面指導（※24年度の実施回数 208回 参加延べ人数：515名）

#### ③自立研修事業

- ・「日本語教室（12ヶ月研修）」と「再研修教室」等

コース名	対象	学習頻度	募集
自研日本語教室 （12ヶ月研修）	定着促進センター修了直後の者をはじめ国費帰国者優先	平日週5回	年2回
再研修教室	自研日本語教室を修了した、帰国5年以内の高齢帰国者	週1回	年2回

## II. 全国の帰国者・支援者を対象に

### [情報提供事業／普及啓発事業]

#### ①帰国者向け情報誌「天天好日（日中対訳）」の発行、送付（年4回）

- ・内容は時事、進学進路、日本語学習、健康管理や料理、各種社会制度等、日本生活に役立つ知識・情報
- ・送付先：約7200件（帰国者及び家族約6,400件、自治体・支援者向け800件）

※送付希望→随時受付

#### ②中国帰国者のための健診結果ガイド（H24年5月発行）

- ・病気の早期発見の大切さ、自治体の健診サービス、健診結果の読み取り方、メタボリックシンドローム等の基本的情報を易しく解説

※当センターHP上でダウンロード可

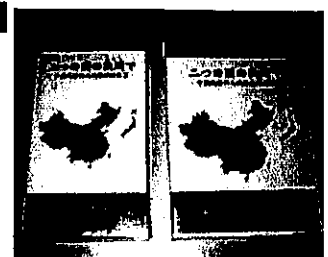
※（帰国者からの）送付希望→随時受付

#### ③普及啓発

中国残留邦人についての理解を深めていただくため、次の取り組みを実施

- ・自治体や支援団体の要請があれば、帰国者理解に関わる写真パネル、映像などを貸出
- ・「聞き書き集（中国残留邦人等の体験談）第1集から第5集」（当センターHPにて閲覧可、印刷不可）を都道府県、支援団体などに送付

※第2～5集送付希望→随時受付



### Ⅲ. 関東・甲信越地域の帰国者・支援者を対象に

[地域支援事業／地域生活支援推進事業] (自治体と連携した取り組み例)

#### 1) 講師派遣

##### ①中国帰国者等に対する施策担当者向け初任者研修会 (H24年6月)

- ・プログラムの一部で「中国帰国者の歴史的背景と支援課題」について講演
- ・主催：東京都福祉保健局生活福祉部生活支援課中国帰国者対策係

##### ②埼玉県支援相談員等研修会 (H25年2月)

- ・プログラムの一部で「帰国者のための介護支援に関する現状と課題について」報告
- ・主催：埼玉県福祉部社会福祉課
- ・協力：同高齢介護課

#### 2) 企画協力・実施協力

「宇都宮市中国帰国者交流会」における介護保険講座 (H25年2月)

- ・目的：帰国者に効果的な介護講座の方法を研究するため、帰国者集住地域をモデル地区として、関係機関の全面協力を得て、介護保険講座プログラムを作成、試行
- ・内容：介護保険制度についてのやさしい解説
- ・主催：宇都宮市生活福祉部生活福祉第1課
- ・協力：同市高齢福祉課

#### 3) 研修会等の開催 (センター主催)

##### ①第3回支援・相談員、自立支援通訳等のための医療通訳研修会 (H24年11月)

- ・目的：広域での経験交流、スキルアップ
- ・内容：講演「相談員としての医療通訳」、事例をめぐるグループ討議、通訳演習
- ・参加者：44名 (1都8県)
- ・協力：1都9県／NPO法人多言語社会リソースかながわ

##### ②ボランティア研修会「中国帰国者について知る集いー共生のまちづくりへ」(H24年11月)

- ・目的：新潟市が運営する帰国者のための日本語・交流教室を地元住民に周知して、支援者の拡大を図る
- ・内容：講演「満州開拓と残留孤児」、一人芝居「帰ってきたおばあさん」DVD鑑賞、三区の日本語・交流教室の活動紹介
- ・参加者：47名 (主催者除く)
- ・共催：新潟市、新潟県

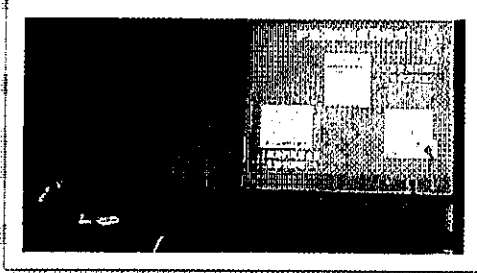
##### ③中国帰国者支援機関連絡会 (H25年2月)

- ・テーマ：中国帰国者の介護支援について
- ・目的：上記のテーマで、国、自治体、当センターの連携協力関係の強化を図る
- ・内容：自治体に対する事前アンケート結果に基づく協議
- ・参加機関：1都7県、6政令市、8中核市、厚生労働省

##### ④中国帰国者と家族のための介護講座 (H25年2月)

- ・目的：帰国者に効果的な介護講座の方法を研究するため、帰国者集住地域をモデル地区として、関係機関の協力の下、介護講座プログラムを試行
- ・参加者：帰国者33名

- ・ 参観者：10名（地域包括支援センター関係者、ケアマネジャー、事業所、支援団体関係者等）
  - ・ 協力：さいたま市保護課、同介護保険課、同福祉総務課、埼玉県介護福祉士会
  - ・ 内容：(1)「介護保険って何?」「介護保険サービス、どうすれば利用できるの?」  
 …介護保険とはなにか、認定申請から利用までの流れ、利用時の留意事項等をパワーポイントのイラスト付き画像や即席的な寸劇を見ながら学ぶ
  - (2)「家族でできる介助のコツ」  
 …介護士による起床や着替えの介助等のデモンストレーションを見たり、参加者同士で体験実習したりすることにより、介護サービスや介護士の仕事に対する理解を深める
- ※地域の介護関係者にも講座の参観を呼びかけ、帰国者について知る機会としていただいた



⑤埼玉県中国帰国者支援研修会(H24年1月26日)

- ・ テーマ：中国帰国者の老後の暮らしと介護支援を考える
- ・ 主催：埼玉県福祉部社会福祉課、当センター
- ・ 目的：行政担当者、介護関係者やボランティアが集い、帰国者の介護支援にまつわる現状と課題を共有する  
 県は「関係職員等研修」として、当センターは「ボランティア研修会」として共同開催
- ・ 参加者：40名（主催者を除く）

